

1. 目的

・基準地点石井において、1カ所の堤防決壊、7カ所の溢水などの被害が発生し、既往最大洪水となった平成27年9月洪水と同規模の6,600m³/sとし、このうち、河道整備において対象とする流量は4,600m³/sとし、洪水による災害の発生の防止又は軽減を図る。

2. 事業概要

・事業概要: 堤防整備、河道掘削、浸透・侵食対策等
 ・事業期間: 平成28年度～令和27年度
 ・全体事業費: 前回: 約766億円 今回: 約955億円

3. 概要図



4. 事業の進捗状況等

ちくせい いさやま ちくせい いさやま ちくせい いさやま
 ・茨城県筑西市伊佐山地先等で堤防整備、茨城県結城郡八千代町片角地先等で河道掘削を実施。



堤防整備(茨城県筑西市伊佐山地先) 河道掘削(茨城県結城郡八千代町片角地先)

5. 事業の効果等

・当該事業を完了することによって、既往最大洪水となった平成27年9月洪水と同規模の洪水による災害の発生の防止又は軽減を図ることが出来る。

6. 事業の投資効率性

※B,C: 現在価値化後

【全体事業】 (前回)	(今回)	【残事業】
総便益B: 約1,623億	総便益B: 約2,102億	総便益B: 約1,058億
総費用C: 約508億	総費用C: 約997億	総費用C: 約113億
B/C: 2.7	B/C: 2.1	B/C: 9.4

7. 対応方針(案)

・当該事業は、現段階において、災害の発生の防止又は軽減を図る目的における必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当と考える。

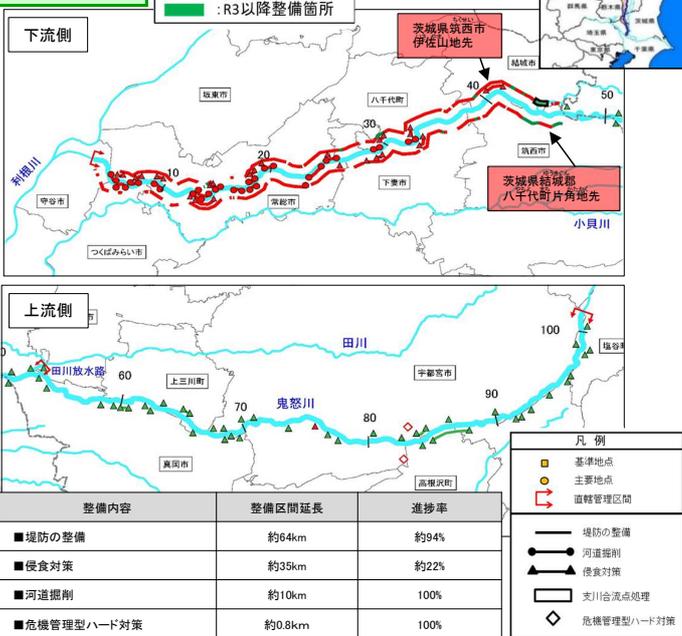
1. 目的

・基準地点石井において、1カ所の堤防決壊、7カ所の溢水などの被害が発生し、既往最大洪水となった平成27年9月洪水と同規模の6,600m³/sとし、このうち、河道整備において対象とする流量は4,600m³/sとし、洪水による災害の発生の防止又は軽減を図る。

2. 事業概要

・事業概要: 堤防整備、河道掘削、浸透・侵食対策等
 ・事業期間: 平成28年度～令和27年度
 ・全体事業費: 前回: 約766億円 今回: 約955億円

3. 概要図



4. 事業の進捗状況等

ちくせい いさやま ちくせい いさやま ちくせい いさやま
 ・茨城県筑西市伊佐山地先等で堤防整備、茨城県結城郡八千代町片角地先等で河道掘削を実施。



堤防整備(茨城県筑西市伊佐山地先) 河道掘削(茨城県結城郡八千代町片角地先)

5. 事業の効果等

・当該事業を完了することによって、既往最大洪水となった平成27年9月洪水と同規模の洪水による災害の発生の防止又は軽減を図ることが出来る。

6. 事業の投資効率性

※B,C: 現在価値化後

【全体事業】 (前回)	(今回)	【残事業】
総便益B: 約1,623億	総便益B: 約2,103億	総便益B: 約1,058億
総費用C: 約508億	総費用C: 約997億	総費用C: 約113億
B/C: 2.7	B/C: 2.1	B/C: 9.4

7. 対応方針(案)

・当該事業は、現段階において、災害の発生の防止又は軽減を図る目的における必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当と考える。

1. 目的

・京成本線荒川桥梁の桁下は、必要な堤防の高さに対して約3.7m低く、危険な状態となっているため、桥梁を架替え、切り欠き部の堤防を嵩上げを行うことで、当該箇所の流下能力の向上を図る。

2. 事業概要

- ・事業概要: 桥梁架替
- ・事業期間: 前回:平成16年度～令和6年度
今回:平成16年度～令和19年度
- ・全体事業費: 前回:約364億円 今回:約730億円

3. 位置図

平常時 洪水時

周辺堤防の高さ
約3.7m低く
現在の橋梁の高さ

かさ上げされた堤防の間を通る
京成本線荒川橋梁

橋梁架替区間

計画 現況

堤防かさ上げに伴い
橋梁を上流に約15m移動

4. 事業の進捗状況等

- ・これまでに現地調査、概略設計、詳細設計及び環境影響評価を実施。
- ・現在、用地買収を実施中。



5. 事業の効果等

・桥梁を架替え、切り欠き部の堤防の嵩上げを行うことで、当該箇所の流下能力の向上を図ることが出来る。

6. 事業の投資効率性

※B,C: 現在価値化後

【全体事業】	(前回)	(今回)	【残事業】
総便益B:	約7,345億	約4,832億	約4,832億
総費用C:	約333億	約572億	約534億
B/C:	22.0	8.4	9.0

7. 対応方針(案)

・荒川下流特定構造物改築事業は、現段階においても、その必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当と考える。

1. 目的

・京成本線荒川桥梁の桁下は、必要な堤防の高さに対して約3.7m低く、危険な状態となっているため、桥梁を架替え、切り欠き部の堤防を嵩上げを行うことで、当該箇所の流下能力の向上を図る。

2. 事業概要

- ・事業概要: 桥梁架替
- ・事業期間: 前回:平成16年度～令和6年度
今回:平成16年度～令和19年度
- ・全体事業費: 前回:約364億円 今回:約730億円

3. 位置図

平常時 洪水時

周辺堤防の高さ
約3.7m低く
現在の橋梁の高さ

かさ上げされた堤防の間を通る
京成本線荒川橋梁

橋梁架替区間

計画 現況

堤防かさ上げに伴い
橋梁を上流に約15m移動

4. 事業の進捗状況等

- ・これまでに現地調査、概略設計、詳細設計及び環境影響評価を実施。
- ・現在、用地買収を実施中。



5. 事業の効果等

・桥梁を架替え、切り欠き部の堤防の嵩上げを行うことで、当該箇所の流下能力の向上を図ることが出来る。

6. 事業の投資効率性

※B,C: 現在価値化後

【全体事業】	(前回)	(今回)	【残事業】
総便益B:	約7,345億	約4,829億	約4,829億
総費用C:	約333億	約572億	約534億
B/C:	22.0	8.4	9.0

7. 対応方針(案)

・荒川下流特定構造物改築事業は、現段階においても、その必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当と考える。